

令和5年度 第1回 さいたま市バリアフリー専門部会 議事録

■日時：令和5年10月31日（火）午後3時00分～

■場所：浦和コミュニティセンター 9階 第15集会室

■出欠：出席者25名（うち代理出席4名）、欠席者7名

■出席者名簿（敬称略）

	氏名	所属団体役職等	備考
1	稲垣 具志	東京都市大学 建築都市デザイン学部 都市工学科 准教授	
2	水村 容子	東洋大学 ライフデザイン学部 学部長	
3	野口 祐子	日本工業大学 建築学部 建築学科 生活環境デザインコース 教授	欠席
4	吉野 博之	社会福祉法人さいたま市社会福祉協議会 事務局長	
5	臼井 常雄	障害者（児）の生活と権利を守るさいたま市民の会	
6	小藤 伸一	さいたま市老人クラブ連合会 副会長	欠席
7	関 昌美	NPO法人 彩の子ネットワーク 代表理事	
8	竹内 政治	さいたま市精神障害者当事者会ウィーズ 事務局長	
9	田中 一	NPO法人 埼玉県障害者協議会 代表理事	欠席
10	中野 勇	NPO法人さいたま市視覚障害者福祉協会 副理事長	
11	戸井田 秀明	一般社団法人 埼玉県建築士事務所協会 副会長	欠席
12	星野 美子	一般社団法人さいたま市手をつなぐ育成会 理事	
13	鈴木 亜紀子	さいたま市聴覚障害者協会 財務部付・広報部長・企画部長	欠席
14	矢口 ミヤ子	さいたま市身体障害者福祉協会 理事	欠席
15	守下 恵	NPO法人さいたま市障害難病団体協議会 代表理事	
16	金子 賢治	公募委員	欠席
17	新井 一年	公募委員	
18	渡邊 大輔	東日本旅客鉄道株式会社 大宮支社 企画調整課長	
19	村山 知之	東武鉄道株式会社 鉄道事業本部 施設部 建築土木課長	
20	小田嶋 一樹	埼玉新都市交通株式会社 取締役技術部長	
21	関根 肇	一般社団法人埼玉県バス協会 専務理事	
22	藤田 貢	一般社団法人埼玉県乗用自動車協会 事務局長	
23	齊藤 隆裕	国土交通省関東地方整備局 大宮国道事務所 交通対策課長	
24	中山 俊夫	国土交通省関東運輸局 埼玉運輸支局 総務企画担当 首席運輸企画専門官	
25	鷹巣 則和	埼玉県警察本部 交通部 交通規制課 管制保全補佐	代理
26	吉田 亀司	さいたま市 福祉局 生活福祉部長	
27	兼山 和夫	さいたま市 福祉局 長寿応援部長	
28	西渕 亮	さいたま市 福祉局 障害福祉部長	
29	桐生 憲一	さいたま市 建設局 土木部 道路環境課 課長補佐兼係長	代理
30	高木 範道	さいたま市 建設局 建築部長	
31	山本 順二	さいたま市 教育委員会事務局 学校教育部 副理事	代理
32	代田 智之	さいたま市 都市局 都市計画部 次長	代理

次 第	1. 開 会 2. 議 題 （１）バリアフリー整備に関する利用者アンケートの結果について （２）まちあるき勉強会（案）について 3. その他 4. 閉 会
配布資料	○次第 ○出席者名簿・席次表 ○資料１－１ バリアフリー整備に関する利用者アンケートの結果 ○資料１－２ バリアフリー整備に関する利用者アンケート調査票【大宮駅周辺】 ○資料２－１ 令和５年度 大宮地区まちあるき勉強会企画書（案） ○資料２－２ まちあるき勉強会 評価シート（案） ○参考資料１ 令和４年度第２回さいたま市バリアフリー専門部会 議事録 ○参考資料２ さいたま市バリアフリー専門部会設置要綱 ○参考資料３ バリアフリー整備に関する利用者アンケート集計結果【速報版】

1. 開会

2. 議題

(1) バリアフリー整備に関する利用者アンケートの結果について

- アンケートの対象者や対象範囲について、大宮の場合、市外から電車やバスで訪れる方も多いため、市内の障害者団体だけでなく、県の団体にも依頼をしたらよいのではないかと。満足度に関しては、普通という回答を設けずに数字で表すことで、回答に過度な偏りが生じることを防ぐことができるのではないかと。
⇒次回アンケート実施の際に、意見を反映させた形で実施したい。
- 団体に対し回答者数を決めて依頼することが負担となることはあるかと。
⇒アンケート自体は回答しやすいと感じているため、そこまで負担にはならないと思う。
また、肢体不自由の方の中には車に乗る方もいるため、市内に絞るのではなく、県にアンケートの依頼をするのもよい。
- 全盲の方は文字を読むことはできないと思うが、アンケートの回答の際にどのような対応をされたのか。
⇒交通政策課に点字のアンケートを作成していただき、その資料で回答した。
- 子育て中の方だと5年前にはさいたま市に住んでいない方が多く、アンケートの意図に沿って答えるのが難しいという意見があった。
⇒5年あれば立場や環境が変わることも多いため、無理に変化の実感を答えていただくのではなく、現状の満足度だけでも答えていただきたい。
- 精神障害者の回答数が少ない。回答数が少ないと、精神障害者の方が普段何に不便を感じているのかわからないのではないかと。
⇒回答数の見込みが分からず、結果として精神障害者の回答数が少なくなってしまった。
事務局として、次回以降に活かしていく必要があると考えている。
- アンケートを無作為抽出で行うことは制度的に難しいのか。
⇒行政のアンケート調査について、無作為抽出で行っている調査もある。しかし、障害の特性等が偏ってしまう恐れがあるため、無作為抽出の中で、障害の特性等がうまく分けられるかは確認が必要である。

(2) まちあるき勉強会(案)について

- 評価シートに関して、評価が○と×で白黒はっきりし過ぎているのではないか。バリアフリーに対応していたとしても実際には使いにくいものもあり、そうした場合も考慮して、評価の仕方を見直すことが必要なのではないか。
- 「東口全体のバリアフリーのまちづくり」の項目は、どのように評価すればよいのか。
⇒具体的な回答方法に関して事務局で再度検討し、当日にご説明をさせていただく。
- 路線バスへの乗車は、乗客として運賃は支払うのか。
⇒バス乗車については、運賃を支払って通常の路線バスに乗車する。特別に停車して確認をするということではない。
- 団体から2名参加する際に、東西のグループに分けるのか。
⇒参加人数にもよるが、基本的には東西で1名ずつ分けさせていただく。

3. その他

- 国道463号線や国道22号線の歩道に草が生い茂っていることがあり、市に連絡をして刈り取っていただいているときがある。道路の管理は大変だと思うが、バリアフリーの観点からも地域の歩きやすい歩道のために尽力していただきたい。
⇒限られた予算の中で、維持管理が行き届いていない場所もあるが、状態が悪い場合には個別具体的に対応させていただきたい。(道路環境課)
- 音声式の信号は、視覚障害の方にとって大事なものになるので、今後音声式の信号の数を増やしていただきたい。
⇒音響式信号機については、要望をもとに各関係団体と協議の上、現地確認等をして設置を進めている。以前から設置しているところに関して、不具合の報告が出てきたため、今後は設置だけでなく維持管理も必要になってくるが、設置の要望にも応えられるようにしていきたい。(埼玉県警察本部)

■議事内容

発言者	発言内容
	： 1. 開会
司会（事務局）	： ただいまから「令和5年度第1回さいたま市バリアフリー専門部会」を開会いたします。 本日の司会を務めさせていただきます、交通政策課の長泉と申します。どうぞよろしくお願いいたします。 本日は、お忙しいところご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。 本日の会議は、概ね1時間半程度を予定しております。円滑な議事進行にご協力の程よろしくお願いいたします。
事務局	： ・配付資料の確認
司会（事務局）	： それではこれからの進行につきましては稲垣部会長にお願いいたします。
稲垣部会長	： それでは、ここからの議事について進行させていただきます。 まず、委員の出席状況について事務局より報告をお願いします。
事務局	： 委員の出席状況についてご報告いたします。 本日は、32名の委員中20名の出席でございます。したがって、さいたま市バリアフリー専門部会設置要綱の規定による委員の過半数に達しておりますので、本日の会議は成立しますことをご報告いたします。（会議終了時点で21名の出席）
稲垣部会長	： 事務局の報告のとおり、本日の会議は成立いたしました。 続きまして、本日の会議の公開についてお諮りしたいと思います。本日の議事に関して、非公開事項に該当する案件があるか事務局に伺います。
事務局	： 本日の会議では、非公開事項に該当する議事はありません。
稲垣部会長	： 事務局から、本日は非公開事項に該当する議事がないとのことでしたので、本日の会議を公開で行いたいと思いますが、よろしいでしょうか。 ありがとうございます。異議なしと認めて、本日の会議は公開とさせていただきます。傍聴者についていかがでしょうか。事務局は、傍聴者について報告をお願いします。
事務局	： 本日の傍聴者はございません。
稲垣部会長	： 承知しました。傍聴者はいないということでございます。 それでは、議事を進めさせていただきます。 議題（1）バリアフリー整備に関する利用者アンケートの結果について、事務局から説明をお願いします。
	： 2. 議題
事務局	： （1）バリアフリー整備に関する利用者アンケートの結果について ・資料1-1、1-2に基づき説明
稲垣部会長	： 資料についてご質問等ありますでしょうか。

発言者	発言内容
水村副部会長	： アンケートの対象者や対象範囲の考えについてですが、大宮の場合、市外の方が電車やバスで訪れる方も多いため、さいたま市の障害者団体だけでなく、県の団体にも依頼をしたらよいのではないのでしょうか。 また、さいたま市の団体に依頼する際にも、団体で答えていただく人数を決めて依頼するやり方もあるのではないのでしょうか。 満足度に関しては、回答の部分に普通という欄を設けずに、数字で表すのもよいのではないのでしょうか。そうすることで普通の定義がなくなり、回答に過度な偏りが生じることを防ぐことができるのではないのでしょうか。
事務局	： 次回のアンケート実施の際には、ご意見を反映させた形で実施したいと考えております。
稲垣部会長	団体で答えていただきたい人数を決めて依頼するやり方で、負担となることはあるのでしょうか。
臼井委員	： 所属団体では、アンケート自体も回答しやすいと感じているため、そこまで負担にはならないと思います。 また、肢体不自由の方の中には車に乗る方もいるため、市内に絞るのではなく、県にアンケートの依頼をするのもよいと思います。
中野委員	： 大宮駅は我々の視覚障害者団体でも利用している人は多いため、回答することは可能だと思います。
稲垣部会長	： 音響式信号機に関する結果は、普通と回答されている方が多いですが、満足している方もおり、不満に感じている人もいるのも事実です。このような方が、もしかすると視覚障害の個人特性によって回答が異なることも考えられるのではないのでしょうか。 中野委員にお聞きしたいのですが、全盲の方は文字を読むことはできないと思いますが、アンケートの回答の際にどのような対応をされたのか教えていただけますでしょうか。
中野委員	： 交通政策課から点字のアンケートを作成していただき、その資料で回答をしました。
稲垣部会長	： ありがとうございます。他の方もいかがでしょうか。
水村副部会長	： アンケート対象者の意見に戻りますが、介護者立場の人にも、アンケートの対象範囲に入れることで違った目線からアンケート結果が返ってくるのではないのでしょうか。
稲垣部会長	ありがとうございます。他の方もいかがでしょうか。
関委員	： アンケートを頂いたときにお聞きすればよかったのですが、5年前からの変化の実感について、子育て中の方だと5年前にはさいたま市に住んでいない方が多くアンケートの意図に沿って答えるのが難しいという意見がありました。
稲垣部会長	： 今の意見を踏まえて5年前からの変化の実感について、事務局としてはいかがでしょうか。

発言者	発言内容
事務局	： おっしゃる通りで、5年あれば立場や環境が変わることも多いことは把握しております。その中で、無理に変化の実感を答えていただかなくても、現状の満足度だけでも答えていただければと思います。
竹内委員	： アンケートの回答者の中に精神障害者の方が少ないと感じました。 回答数が少ないと、精神障害者の方が普段何に不便を感じているのかわからないのではないのでしょうか。
稲垣部会長	： アンケートの結果では精神障害者福祉手帳を持っている方が、0%となっていますが、このあたり事務局からコメントありますか。
事務局	： 回答数の見込みがわかっていないままアンケートを実施したため、結果として精神障害者の回答数が少なくなっていました。事務局として、次回以降に活かしていく必要があると考えています。
稲垣部会長	： アンケートを無作為抽出で行うことは制度的に難しいのでしょうか。
事務局	： 行政のアンケート調査について、無作為抽出で行っている調査もあります。しかし、障害の特性等が偏ってしまうと違った結果になる恐れがあるため、無作為抽出の中で、障害の特性等がうまく分けられるかは確認が必要であると思います。
稲垣部会長	： それでは次の議題にいかせていただきます。 議題2の「まちあるき勉強会（案）について」事務局から説明をお願いいたします。
事務局	： （2）まちあるき勉強会（案）について ・資料2-1、2-2に基づき説明
稲垣部会長	： ありがとうございます。ご説明いただいた内容に関してですが、アンケートだけでは具体的な回答をすることが難しいため、その補完的な役割がまちあるき勉強会にはあると思います。 それでは、議事の内容に関してご意見やコメントはありますでしょうか。
中野委員	： まちあるきの勉強会の参加締め切りはいつですか。
事務局	： 参加締め切りは推薦される方も含めて11月10日までとさせていただきます。
水村副部会長	： まちあるきの評価シートに関してですが、評価が○と×で白黒はっきりし過ぎているのではないのでしょうか。例えば、バリアフリーに対応していたとしても実際には使いにくいものもあり、そうした場合もあることを考慮して評価の仕方を見直すことが必要なのではないのでしょうか。
稲垣部会長	： この意見には同意で、例えば○×だけでは、×ばかりになってしまう可能性があるのではないのでしょうか。1つの項目において、○と×の両方の観点から評価できるシートにするべきではないのでしょうか。 路線バスにも乗車されるということで、乗客として運賃は支払うのでしょうか。

発言者	発言内容
事務局	: バス乗車について補足させていただきますと、特別に乗車するというのではなく、通常の路線バスに乗車するイメージですので、運賃を支払って乗車します。止まって確認をするということではございません。
稲垣部会長	: ありがとうございます。他の方もいかがでしょうか。
中野委員	: 団体から2名参加する際に、東西で分けることはするのでしょうか。
事務局	: 参加人数にもよりますが、基本的には東西で1名ずつ分けさせていただこうと考えております。
稲垣部会長	: 参加される方も例えば2名であれば、東西で1名の当事者意見になるため、代表して来られる方にはご自身の立場だけでなく、障害程度の異なる他の方の視点でもご意見をいただきたいと思います。
関委員	: まちあるきの当日は、事務局側でベビーカーの用意をしていただくことは可能でしょうか。
事務局	: ベビーカーの用意に関しては確認いたします。
白井委員	: 資料2-2の4ページについてですが、東口全体のバリアフリーのまちづくりに関してというのは、現場でどのように評価すればよろしいでしょうか。
事務局	: 幅広い意味になってしまいましたが、総評という形で評価していただければと思います。
稲垣部会長	: 先ほどのアンケートに付随して聞かれていると思いますが、皆さんが感想を書くということでよろしいでしょうか。
事務局	: 具体的な回答方法に関しては、事務局の方で再度検討させていただき、当日にまたご説明をさせていただきたいと思います。
稲垣部会長	: 具体的にどのルートで歩くのかというのも明確に定まっていないため、当日は混乱を招かないように資料作りをお願いしたいと思います。
	: 3. その他
稲垣部会長	: 最後に、次第の3「その他」になりますが、委員の皆様から全体を通してのご質問など、ご発言がございましたらお願いします。
中野委員	国道463号線や国道22号線の歩道に草が生い茂っていることがあり、市に連絡をして刈り取っていただいているときがあります。市内の道路の管理は大変だと思いますが、バリアフリーの観点からも地域の歩きやすい歩道のために尽力していただきたいと思います。 もう一点は、音声式の信号というのは、視覚障害の方にとって大事なものになるので、今後音声式の信号の数を増やしていただきたいと思います。
稲垣部会長	: 今の意見について道路環境課さんから何かございますか。
桐生代理	: 限られた予算の中で行っておりますので、確かに維持管理が行き届いていない場所があるのも事実であります。しかし、状態が悪い場合には個別具体的に対応させていただきたいと思います。
稲垣部会長	音響式信号機については、埼玉県警察の方から何かございますか。

発言者	発言内容
鷹巣代理	音響式信号機につきましては、要望をもとに各関係団体と協議の上、現地確認等をして設置を進めさせていただいているところです。 以前から設置しているところに関してですが、不具合が発生してきている場所の報告が出てきたため、今後は設置だけでなく維持管理の方も必要になってくると思います。 もちろん設置の要望にも応えられるようにしていきたいと思います。
稲垣部会長	： ありがとうございます。他の方もいかがでしょうか。 以上で本日の議事については終了いたしました。 委員の皆様には、会議の進行にご協力いただき、誠にありがとうございました。それでは、事務局に進行をお返しいたします。
	： 4. 閉会
事務局	： 稲垣部会長、議事の進行ありがとうございました。 また、委員の皆様におかれましては、大変貴重なご意見を頂戴いたしまして誠にありがとうございました。 本日いただいたご意見を踏まえ、資料等の更新作業を進めてまいります。 アンケート調査につきましても、いただいたご意見を踏まえて修正を加え、実施の依頼をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。 まちあるき勉強会につきましては、本日いただいたご意見を踏まえて修正を加え、実施させていただきますので、よろしくお願いいたします。 次回の部会につきましては、来年2～3月の開催を予定しておりますが、後日日程を事務局で調整し、決まり次第、別途ご連絡いたしますので、よろしくお願いいたします。 それでは、以上をもちまして、令和5年度第1回さいたま市バリアフリー専門部会を閉会とさせていただきます。